

平成22年度 総合優勝 オールAチーム 19勝10敗1分

<シニアAチーム>

<u>監督</u>	数見 貞男	<u>主将</u>	町田 健一
	柳澤 誠		関 敬一
	木村 義一		小林 昭彦
	水野 幸雄		平林 襄
	田中 誠		和田 恵二

<ジュニアAチーム>

<u>監督</u>	田村 陽平	<u>主将</u>	釣部 義之
	木村 晃		半田 英彦
	北濱 ちぐさ		伊藤 進
	前崎 義博		岡野 照一
	梅原 義信		澤邊 重徳
	植竹 徹		

●総合勝敗表 第15戦まで(全日程終了) *引分試合は、0.5勝0.5敗で勝率計算

順	チーム	勝	負	分	勝率	ゲーム差
1	A	19	10	1	.650	-
2	C	16	11	3	.583	2.0
3	B	13	15	2	.467	3.5
4	D	9	21	0	.300	5.0

<リーグ優勝チーム> 平成22年度 シニアリーグ 優勝 シニア Aチーム

平成22年度 ジュニアリーグ優勝 ジュニアCチーム※JAとの優勝決定戦に勝利

●シニアリーグ勝敗表 第15戦まで(全日程終了) *引分試合は、0.5勝0.5敗で勝率計算

順	チーム	SA	SD	SB	SC	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率	ゲーム差
1	SA	***	●●●○○	●●●○○	●○○○●	8	6	1	.567	125	127	.332	4.27	-
2	SD	○○○●●	***	●●●○○	○●○●○	8	7	0	.533	138	126	.338	4.80	0.5
3	SB	○●●○○	○○●○●	***	●○△△●	6	7	2	.467	104	103	.310	4.67	1.0
3	SC	●●○○△	●○●○●	○●△△○	***	5	7	3	.433	133	130	.299	6.72	0.5

●ジュニアリーグ勝敗表 第15戦まで(全日程終了) *引分試合は、0.5勝0.5敗で勝率計算

順	チーム	JA	JC	JB	JD	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率	ゲーム差
1	JA	***	●●○○○	○●○●○	○○○○○	11	4	0	0.786	87	65	.218	3.16	-
1	JC	○○●●●	***	●○○○○	○○○○○	11	4	0	0.786	110	49	.261	2.70	0
3	JB	●○●○○	○●●●●	***	○○○○●	7	8	0	0.467	74	72	.242	2.64	4.0
4	JD	●●●●●	●●●●●	●●●●○	***	1	14	0	0.067	45	124	.225	6.97	6.0

2010年を振り返って

～事務局長及び各チーム監督談話～

【事務局長 柳澤 誠】

皆さん1年間ご苦労様でした。

お蔭様で全日程消化することが出来ました。3年振りです。又、始めて公式戦に外苑球場を使用し、新鮮味のある展開が出来たのでは。

ジュニア、シニア総合成績が絡み、最終戦まで優勝がもつれました。もつれただけに今年の広報機関の飛躍で逐次、公式戦の臨場感がお届け出来たと思います。

おまけにコメッツ歴史以来初めてのプレーオフもやりました。優勝に向かい今年ジュニア、シニアの共有の意識が高まった気がしました。

外部にコメッツニュース愛読者がいれば、プロ野球のペナントレースより楽しめたのでは(?)

還暦におきましては東還連が目を見張る躍進をしております。今後益々東還連での存在がクローズアップされるチームになるでしょう。

閑話休題。今年1年振り返り、課題、反省がいろいろあります。

1) けが人を出した。

シーズンが始まった間にスライディングの失敗から大怪我をした選手がいます。1シーズンを棒に振っています。

この件については、来春シーズン前にスライディング講習会を開催します。スライディングの基本を取得し、再発防止を施します。自信の無い方等多くの受講者を切望致します。

2) 新たなグラウンド開拓の具体策が見出せなかった。

今年運営委員担当者により、関東周辺のグラウンド全てをできる範囲の情報網で調査致しましたが、コメッツの運用に意向が沿うグラウンドはありませんでした。現状のグラウンドが年々確保に困窮の傾向にあります。コメッツ存続に関わる問題でもあり、来季も引き続き重要課題とします。

3) ジュニア・シニアチーム構成の見直し。

現在の会則に則りますと、どうしてもシニアのチーム人数不足が顕著で、9人やつとが現状です。このままですと1シーズン絶えず助っ人を投入する形となり、本来のコメッツ野球とは違ってきます。再来年のチーム構成を目処に、改善を図ります。

この問題の検討には意見の幅を広げるために、各年齢層均等に選抜し、来春プロジェクトチームを発足致します。来夏に臨時総会により審議、承認を得る段取りです。会員皆様のご協力をお願い致します。

4) ジュニア公式対外試合の企画

還暦は還暦リーグの参加より、充分外部との厳しい風にさらされています。一方、ジュニアは公式戦後の対外試合を何試合か組みましたが不甲斐ない試合に終わっています。何とかしなければならぬとの「悔しさ」が浸透してきて「井の中の蛙」から脱却するとの気概が伺え、いい機会ではないかと思えます。来季より公式戦以外に組織立った対外試合を企画し、公式行事に組み込みたいと考えております。

何はともあれ、コメッツの誇りを持って、対外試合でも活性化を図っていきたい！

【シニアAチーム監督 数見 貞男】

今シーズンは開幕前の還暦野球で指を痛め投げられず前半は柳澤・関・和田選手に負担をかけ申し訳ないと思っておりましたが幸いにも5月後半から投球ができる様に成りAチームの全員参加と柳澤選手のタイムリーヒットの連続にチーム全員が勝利のムードに乗せられて優勝できたと思えます。1月に腸捻転で入院していた田中選手の頑張り、木村選手の後半でのバッティング復活、関キャプテンのシュアなセンター返し、和田選手の何処でも守りますの気持ちが嬉しい、水野選手の不安な守備をカバーする確実なバッティング、小林選手の確実なセカンド守備と上手いスライディング、町田選手は一塁を一年間確実な守備で出場、平林選手は毎日の素振りが今シーズンの打率3割3分3厘と活躍し、全員が優勝に貢献できて楽しい一年でした。SAチームの皆さん、JAチームの皆さんありがとうございました。

【シニアBチーム監督 小林 恵一】

～反省、言い訳、感謝～

立候補してまでの監督だったが芳ばしい成績を残せず恥かしい思いだ。

シーズン前はリーグを代表する「柿崎-島本」のバッテリーと強力打線を擁し優勝確実と自負していた。

<言い訳>

- ①エース柿崎の怪我及東還連大会との登板の兼ね合い。
- ②2番手、3番手投手の不調。
- ③期待した程の爆発しなかった打線。
- ④監督の力量不足。

と云っても選手達はよく頑張ってくれた。原因はなんといっても④だろう。

責任を痛感している。ジュニアの協力にも感謝したい。

長尾監督の叱咤激励に答えられず申し訳ない。皆さんには来季それぞれのチームで優勝目指して頑張ってください。ありがとうございました。

【シニアCチーム監督 清水 敬之】

ほとんどの選手が満身創痍の状態です。15試合を出来た事に感謝しております。そしてそれを助けて下さった助っ人の方々に感謝もしております。来年は助っ人が不要なチーム編成を願っています。

【シニアDチーム監督 長濱 榮昭】

コメッツに入団し、5年目で僭越ながら初めての監督業の大役。SDのメンバーが決まった時は、若手、老練のバランスが取れたチームにワクワク。第一戦こそ相手柿崎投手にひねられ0封されましたが、その後は勝越しのパターンで優勝も頭によぎりましたが、増田譲、片倉、本間の各選手の病気、怪我による離脱でショボン。しかしながらその後の島崎選手の補強もあり6勝7敗で迎えた最終戦の神宮でのWヘッダーで2連勝し勝越し、0.5勝差でSCチームに優勝を譲ったものの勝越しで新米監督に有終の美をプレゼントして頂いたチームに心から感謝し、御礼を申し上げます。

やはり健康が一番です。

来年度は体に注意して元気に明るく野球を楽しみましょう。

SD, JDの皆さん本年度は本当に有難うございました

【ジュニアAチーム監督 田村 陽平】

コメッツの皆さん1年間お疲れさまでした。

今シーズン私は2年連続監督として「総合優勝」できました。

JAチームの選手、そしてSAの親(先輩)おめでとうございます。

今年のチームは「絆」と「つなぎ」のある「全員野球」ができました。

とくに攻撃では、1番～4番(木村晃、半田、田村、伊藤)が持ち味の15試合で70盗塁などWスチールやエンドランなど「機動力」を発揮しチーム打率200だが勝負強く、11勝のうち7勝が1～2点差の接線に強く、すべてのチームに「勝ち越し」でき、総合優勝に貢献できたこと、うれしさと感動でいっぱいです。

守備では伊藤-田村のバッテリーを中心に釣部-木村晃のセンターラインを軸に守備のいい半田、梅原選手に、のびしろのある岡野選手が加わり、新人澤邊投手もローテを守り4連戦の天王山を乗り切った。

個人では「8月1日」の優勝のかかった大一番でベストゲームであった対JC戦。気持ちのピークと勝利の達成感で試合終了後倒れて、病気で1ヶ月入院してしまい、残り2試合を釣部主将に託し、チームは連勝してくれました。

ご心配をお掛けし深く感謝いたします。「ありがとう」

そして数見監督とSAの先輩、勝ち越しありがとうございました。

12月11日は親子で「優勝旅行」です。

一年の癒しと、世代を越え「野球話」をつまみに乾杯!! 感謝

【ジュニアBチーム監督 長尾 善弘】

チームの新年会で優勝を誓い合い、序盤こそ首位に立ったが3つ巴になり後半失速して3位。選手総合力は甲乙付けがたいが、この結果は監督の采配力の差が出たということか。

J Bの皆さん本当にお疲れ様でした。

特に猛暑の中ほとんどの試合をお願いした小柴・金田のバッテリーには心から敬意を表します。「今年は楽しかった。」とのお言葉を頂いた野坂さん。

「お前の好きなようにやれ！おれが支えてやる！」と渡辺さん。

試合中適切なアドバイスを頂いた片桐さん。陰の努力を怠らなかった戸村さん。ファインプレー賞に値するダイビングキャッチをした近藤さん。

目標達成できなかった私が言う事ではないかもしれませんが、本当に良いメンバーと野球が出来てめちゃ×2楽しかったです。佐藤君・萬田さん是非来年は大きく羽ばたいてください。

最後に中村キャプテン本当に有難う、そして怒鳴ってコメンネ！

【ジュニアCチーム監督 金丸 和彦】

昨年につき、監督という大役を果たせ、メンバー全員と、兄弟チームであるS Cに感謝。我がチームは、チームワーク抜群で、好ゲームをものにし、公式戦を11勝4負の成績で、JAチームと、コメッツでは十数年振りのプレーオフを戦い、一進一退の攻防を制しリーグ優勝！

そして、個人的に目標としていた、メンバー全員が規定打席到達。記憶に残る素晴らしいチームでした。

【ジュニアDチーム監督 木村 豊行】

2010年の監督としての幕開けは柴田選手の骨折による休会から始まった。そして、要のキャッチャー豊田さんが退会、澤選手の公務による度重なるやむをえずの欠場、新人安部選手の指の捻挫による欠場、鍋倉選手の病による欠場。

退会を含め6選手が規定打席未滿。これだけの選手の欠場では監督としてはどうすることもできない1年でした。ただ、新人の嶋村選手の首位打者獲得。

最終戦での劇的なサヨナラ勝ちが記憶に残るいい試合でした。

欠場選手が多い中、出場して頑張っていたいただいたチームの皆様には大変感謝しております。未熟な監督のもと、プレーしていただき、一年間本当にありがとうございました。

来年は、一選手として楽しんでプレーさせていただきたいと思っております

喜びの声

～総合優勝した SA、JA チーム、リーグ優勝の JC チーム・メンバー談話～

【小林 昭彦 (3)】

「コメッツ野球の精神は人のミスをなじるのではなく、ドンマイのひとことにあり！全員野球、勝利への近道

【平林 襄 (12)】

今季は膝、肘の故障で仲間にも迷惑をかけたが、いつもの年より楽しくプレーが出来ました。チームも助っ人を頼ることなく、ぎりぎりの人数で優勝に導いた数見監督の手腕を高く評価したい。結果を出した子供チームの仲間と一緒に、喜びの美酒に浸りたい。

【関 敬一 (14)】

総合優勝お目出とうございます。優勝はけして一人だけの力ではありません。監督以下全員が力を出し、結束できた結果であると考えます。今年度の優勝を人生の糧として、今後のコメッツ野球に活かして、チームが変わっても一人一人が、将来のコメッツを背負って活躍していただきたいと思っております。

【水野 幸雄 (22)】

コメッツ入会30年にして4回目の優勝です。チームにどこまで貢献できたかわかりませんが、数見監督他チームメイトに感謝・感謝です

【木村 義一 (27)】 六年目で初優勝

2005年度に入部しましてその年はダントツ最下位でした。

優勝=私の所属しないチームと思っていました、本年も中盤までは予定通の推移でしたが後半に入り急上昇して気が付けば優勝でした。

勝利がすべての目標ではありませんが、入部年は「負ける為に試合を行っている」感じでしたので、「優勝は好いな」と素直に感じています。しかし、入部年も本年もメンバー全員が一生懸命なプレーでの結果だと思えます。

【和田 恵二 (39)】

東京コメッツに入会して11年、2回目の優勝に、年甲斐もなく75歳の老兵が興奮し、9年振りの感動でした。この優勝は、SAチームの皆さんの大活躍によるものです。数見監督の、思いやりある采配と、監督自身の4冠王、柳澤氏の打撃4冠王、田中氏の盗塁王等々、タイトル独占のお陰様です。SAチームの皆さん、1年間本当に有難う御座いました。小生打率0.168のチーム最低をお詫び致します

【柳澤 誠 (40)】「SAチーム優勝の喜び」

第1試合～第7試合、2位から3位行ったり来たり。

第8試合で最下位。第9試合～第11試合、2位から3位行ったり来たり。第12試合～第15試合、首位

上記の様に、前半から中盤は悪かった。第8試合終わって最下位も経験。その当時は優勝の意識はなかった。その中で一つ「毎試合助っ人がほとんどなく、現状の勢力で戦っている」との光を見た。チーム成績が思わしくないと欠場者が増える傾向があるが、このチームは後半に向かって追い上げを駆けるが如く、コンスタントに欠場者がいなかった。その点を捉えるとかなり高いレベルの優勝ではないかと自負している。

欠場者がいなかった事が団結力を生み、チームの和となり、いかにも古典的だがチームワークの必要性が如実に表している。

【町田 健一 (57)】

「数見監督の投打に亘る活躍。柳澤選手の驚異的な打力。又田中選手の出塁率の高さ出ればホームに帰る。投打走の非常に効率の良い内容でナインは楽な楽しい野球シーズンでした。美酒を有難う」

【田中 誠 (80)】

今年のAはなんと言っても柳澤選手の活躍に尽きる。前半はリーグ最下位の失点続きであったが2節に入ってから打撃不振であった水野、木村、和田選手等が出揃い一度はあきらめた優勝を引き寄せた。じゃじゃ馬のチームを上手く乗せた数見監督の手腕は見事であった。

【数見 貞男 (90)】

優勝は難しい、そんなSAチームのスタートでしたが後半は柳澤選手の高打率旋風に乗れ全員が粘り強い野球で勝利と楽しさを積み重ね優勝できたことにSA、JAチームの皆さんに感謝しています。

【半田 英彦 (6)】

今年とはにかく「勝つ喜びを存分に味わいたい」との思いで挑んだシーズンでした。特に今シーズンは、田村監督が各人の役割を明確に意識付けしてくれました、「出塁し、ホームに帰ってくることに集中しました。よって「得点王」となれたこと満足してます。

JA・SAの皆さん楽しいシーズンありがとうございました。

【前崎 義博 (12)】

優勝できてたいへん嬉しく思っております。来年はケガしないようプレーしていきますのでよろしく願いいたします。

【木村 晃 (15)】

シニア優勝、ジュニアはプレーオフで敗れましたが1位同率でAチームが総合優勝できてとてもうれしく思っています。ジュニアは監督の戦術、気合で接戦に強く、全員野球で競り勝つ野球ができました。連絡係でしたがメール連絡にもご協力頂き、JA、SAの皆さん、1年間本当にありがとうございました。

【澤邊 重徳 (29)】

入団一年目で優勝できて大変光栄そして喜びいっぱいの気持ちです。約20年ぶりのマウンドで、試合の半分も先発させてもらい負けを3つもつけて、ひとりで足を引っ張ってしまいましたが、チームの皆さんに助けてもらい、4つも勝つ事ができ1年目から大変たのしく野球ができました。JAの皆さん有難うございました、この場をかりてお礼を申し上げます。

【梅原 義信 (33)】

入団して4シーズンめでやっと優勝出来て嬉しく思います。田村監督のチームになってよかったなあっとつくづく思います。今までにない、一致団結した良いチームだったと思います。又このメンバーで野球がやりたいです。本当に優勝出来て嬉しいです。チームの皆様有難うございました。

【植竹 徹 (37)】

Aチーム総合優勝、やりましたねえ！私がコメッツに入団して初めての優勝という事で、私にとってのコメッツ史で忘れられない年になりそうです。

私個人としては怪我などあり、不本意なシーズンになりましたが、他のメンバー達の頑張りやシニアチームの活躍で、美酒を味わう事が出来ました。

JAチームのメンバー、SAチームの皆さんありがとう！

【岡野 照一 (51)】

私はコメッツに入って2年目で、今年は大変リラックス出来て、伸び伸びとプレイが出来た感じです。田村監督を筆頭に人間的にも素晴らしい仲間と一緒にプレイ出来たからだと思っています。チームの中は、監督を始めメンバーの皆さんがリラックスした雰囲気があり、しかし全員が試合には真剣かつ全力で向かっていった。田村監督はじめ皆様には感謝しております。ありがとうございました！

【釣部 義之 (64)】

1年間色々ありましたが楽しくプレーすることができました。JAチームはチームワークはピカ1デシタネ。最後までしびれる試合ができて幸せでした。

【伊藤 進 (83)】

素晴らしいチームメイトと一緒に楽しく野球ができて、総合優勝もできて最高のシーズンでした。個人的にも防御率一位という目標が達成できたのもチームワークと堅実な守りがあったからです。

また、田村監督には改めてコメッツ野球の楽しさを教えていただきました。JA・SAチームの皆さん、ありがとうございました。

【北濱 ちぐさ (85)】

とにかく勝ちたい一心で練習とトレーニングに明け暮れたシーズンだった。田村監督からたくさん学んだ。チームのみんなについて行くのに必死だった。途中前崎さんと田村監督とプレーできなくなった。悲しかった。でもチーム一丸となって戦い続けた。最後にあのJCに負けた。だから、JAの皆さんに対しては勝手言っておわるいけれど、自分の中では優勝していない。

【千葉 克徳 (0)】

皆が頑張った結果優勝することが出来ました。ピッチャーが素晴らしい投球をし、内野、外野ががっちり守り、キャッチャーが的確な指示をして、また打つほうでもチャンスにバシッと決める素晴らしいチームでした。

【野内 直己 (11)】

～史上初？奇跡の5年連続優勝！～

2006年 名将数見監督の好采配のもとブッチギリ優勝！

2007年 闘将長尾監督のもと最終決戦に勝利して感動の優勝！

2008年 迷将？野内監督、終盤2試合連続1対0の試合を守り勝って優勝！

2009年 熱将田村監督のもと、最終戦奇跡の逆転で優勝！

2010年 知将金丸監督のもと、史上初のプレーオフを制して優勝！

監督、キャプテン、チームの皆さん、私は何の役にも立ちませんでしたが優勝して頂いて本当にありがとうございました！

5年も続けて優勝メンバーになれるとは夢のようです！

コメッツ一の幸せ者です！

【正木 茂 (16)】

「投手戦有り、打撃戦有り、やはり野球は守備だ！優勝出来てバンザイ」

【古川勝支 (58)】

個人としてはチームの優勝に、あまり貢献出来ませんでした。チーム金丸のメンバーと一年間楽しく野球ができ優勝出来た事はコメッツ人生のいい思い出になりました。

【栗原 恒男 (69)】

東京コメッツに参加させていただき気がつけば10年が過ぎました。今回確か2回目の優勝になると思います。勝ち負けは二の次とは言ってもまあ勝った方がいいに決まっています。毎年チームメイトに迷惑をかけない様とっておりましたが今年は(特に前半)打率も半分より上にいる事ができて多少の貢献は出来たかなと、思っております。来年は四捨五入すれば還暦(まだ実感はありません)です。体の事を考えながら、出来るだけ続けて行きたいと思っております。

【大島 敏祐 (77)】

JCのチームメイト今年1年間お疲れさまでした、念願の優勝が達成できて大変うれしいです。監督、キャプテンお世話になりました、田村JAチームのシーズン後半から、優勝決定戦まで目を見張るものがありました、脅威の追い上げには驚きました。最後のゲームセットになるまでは、けして諦めてはいけないと再確認いたしました、来年またグラウンドでコメッツ野球を皆で盛り上げましょう。

【久保田 豊男 (88)】

総合優勝はできませんでしたが、本年度のルールにのっとり金丸監督の下、ジュニアリーグで優勝ができました。入団4年目で初優勝です。一年間投手として出場させていただきましたが、四死球の多い私は、相手にも自チームにもめいわくばかりでした。そんな時、いつも回りの選手に助けられ、励まされ、本当に感謝感謝でした。優勝決定戦の最後のマウンド上では、野球ができる喜びをかみしめつつ、優勝の味もかみしめちゃいました～。満腹です。いや～うれしいです。助っ人いただいたSCのかたがた、JCのみなさん、優勝おめでとうございます。そして、一年間ありがとうございました。

健康で末永く野球がやりたい久保田 88

【加藤 正美 (92)】

監督、キャプテン、JCのみなさん一年間有難うございました。

【須藤 聡之 (99)】

『個人的には散々な成績でしたが、ジュニアで優勝でき満足してます。非常にいいチームでした。チームメイトに感謝です👍』